

地方自治体の保有する 税務データの学術利用と その法的課題

地方自治体が保有している税務データは、学術研究の資源として大きな可能性を秘めている。東京大学政策評価研究センター（CREPE）では、地方自治体と連携して、税務データを活用した様々な実証研究を行っている。その際に、地方自治体及びCREPE双方にとっての重要な課題として、税務データの適切な法的取り扱いを実質的・法的に担保することが挙げられる。本シンポジウムでは、本プロジェクトの概要を説明した上で、本プロジェクトにおける個人情報保護法及び地方税法上の規律に対する法解釈やそれを実現するためのCREPEの対応、そしてそれらの検討から得られた立法的課題について報告する。

2025.3.14（金） 13:00-16:00

会場：東京大学大学院 情報学環・福武ホール地下2階 福武ラーニングシアター
+Web開催（ハイブリッド）

プログラム

[挨拶]川口大司 東京大学教授

[報告]

「本プロジェクトにおける法的問題とその対応」

小川亮 國學院大學専任講師

船渡康平 信州大学准教授

亀川達哉 東京大学大学院

[パネルディスカッション（予定）]

川口大司 東京大学教授

北山昇 森・濱田松本法律事務所弁護士

巽智彦 東京大学准教授

藤谷武史 東京大学教授

正木祐輔 神戸市デジタル監

[司会]穴戸常寿 東京大学教授

参加申込：<https://forms.gle/exFinpp6De9Jds9N9>
もしくはQRコードにてお願いいたします。

※3/13（木）正午までにお申し込みください。

※オンライン接続先のご案内は、3/13の午後、ご登録いただいたメールアドレスにお送りいたします。

